

平成18年9月14日

## ひとり暮らし高齢者宅防火訪問の実施について

### 1 目 的

毎年全国で、数多くの方が火災により亡くなっていますが、全焼死者のうち約6割弱が65歳以上の高齢者という結果です。高齢者は、年齢からくる判断力や運動能力の低下に加え身体的能力の衰えなどにより、ひとりでは避難行動がとれないなど火災発生時には迅速な対応が出来ない場合があります。また、核家族化が進むなか特にひとり暮らしの高齢者の避難が遅れ死傷するという痛ましい事故が年々増加しております。このことから、高齢者自身はもとより地域住民を含めた火災予防の推進を目的として実施します。

### 2 実施日時

平成18年9月15日から11月30日（各クラブにより異なります。）

### 3 実施団体

奈良市女性防災クラブ

### 4 実施対象

市内在住の70歳以上のひとり暮らしの高齢者宅

### 5 実施内容

女性防災クラブがある各地域のひとり暮らしの高齢者宅を防火訪問し、ガスコンロが原因による火災の防止、住宅用火災警報器の設置推進、防災製品の使用の推進等を重点に訴えると共に、火の元点検、火気取扱いの指導、防火チラシの配布を実施します。

### 6 その他

上記期間中に、奈良市消防局職員も女性防災クラブの無い地区内のひとり暮らしの高齢者宅の防火訪問を実施します。

### 7 問い合わせ先

奈良市消防局生活安全部予防課 電話：0742-35-1192

### 高齢者を火災から守るための指導事項

- ・火災の早期発見のため、住宅用火災警報器を設置しましょう。
- ・寝室は、早く外へ出られるように入出口付近の避難しやすい場所や、1 階の避難しやすいところにし、普段から二つ以上の逃げ道を考えておきましょう。
- ・安全に避難するため家の中の段差をなくし、廊下や階段には物を置かないようにしましょう。
- ・ドアや窓の開閉は、いつでもスムーズにできるようにしておきましょう。
- ・寝具や寝巻、カーテン、じゅうたんなどは燃えにくい素材を使った防災製品を使用しましょう。
- ・喫煙の管理や火の元のまわりはいつも整理整頓しておきましょう。
- ・灯明には安定したローソク立てを使いましょう。
- ・煙の中を逃げる時は、できるだけ低い姿勢で避難しましょう。
- ・火災が発生した場合、一度外に避難したら、再び建物の中には戻らないようにしてください。
- ・日頃から近所の人とコミュニケーションを取り、協力体制をとれるようにしておきましょう。